



■発行日／平成28年1月1日

■発行所／公益社団法人 本宮市シルバー人材センター

■住 所／本宮市本宮字馬場74-1 本宮市福祉会館内

■電 話／0243-34-5226

■E-mail : Silver-motomiya@Cameo.Plala.or.jp

■URL : <http://www.silver-motomiya.com/>

高松神社秋季例大祭 演目：柳 舞

Canon EOS 7D CANON EF70-300mm f1.4 - 5.6L

1/250sec F5.6 ISO800 3 Nove AM11:50

14号

年頭あいさつ

理事長 根本 守



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、心健やかに新春を迎えたこと心よりお慶び申し上げます。

シルバー人材センターを取り巻く社会環境は、少子・高齢化社会が進む中、高齢者が地域で活躍できる場の拡大に取り組み高齢者の多様な就業ニーズに応じ、地域社会の日常生活に密着した就業機会を確保・提供し、高齢者の生きがいの充実と社会参加の促進により、地域社会の活性化に貢献するとともに生涯現役社会の実現に向けた、シルバー人材センターの機能強化が求められており、あります。今日ほど高齢者が健康で、生きがいのある生活の実現と、地域社会の健全な発展に貢献するセンターの果たすべき役割は極めて重要となっております。

会員の皆様には、自主的な事業参画と地域社会の「支え手」として活躍をいただき法事務に努めてまいります。また、センター事業の活性化は、「会員の拡大」と「就業機会の拡大」を最重要課題として、会員による「一人一事開拓、一人一会員入会」の運動を推進し機能強化を図るとともに、会員の安全対策に努めています。

会員の皆様が心身ともに健康で生きがいのある自立した人生を送られますようご祈念申し上げ、年頭の挨拶いたします。

新年のあいさつ

本宮市長 高松義行



明けましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本宮市シルバー人材センターも設立九年目を迎え、これまで

新年のあいさつ

本宮市議会議長 渡辺由紀雄



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかで希望に満ちた新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。旧年中は、市議会に対する深い理解と多大なるご協力を賜

り、心より御礼申し上げます。ますます進む少子高齢化社会の中では、地域の活力を維持し、より発展させていくためには、高齢者の方々がこれまでの豊富な経験を生かし、健康に働き続ける環境づくりが極めて重要であります。

貴センターは、「自主・自立、共働・共助」の基本理念のもと、健康で働く意欲のある高齢者の就業確保や生きがい創出など、地域社会の活性化に大きく寄与されているだけでなく、会員皆様方の誠実な仕事内容が評価され、着実に事業の成果を上げられています。感謝の意を表します。

高齢者の就業機会の提供を通じ、会員が健康で働き、生きがいを得ることや地域社会の活性化に貢献してこられました根本理事長はじめ関係各位に対しまして、心より厚く御礼を申し上げます。さて、東日本大震災から間もなく五年の月日が経過しようとしています。現在、市では震災からの復興を最優先に進め、「定住からはじまる住みたいふるさと」もとみや創生」を突破口に、定住促進事業を強力に推進するため、「福島のへそのまち本宮」の魅力発信に努め、震災前にも増して元気で活力に満ちた「まちづくり」に強い心で取り組んでまいりたいと考えております。

そのような中で、役員並びに会員の皆様におかれましても、豊かな経験と知識を活かし、本市の更なる復興、地域社会の活性化のために、より一層充実した事業運営が展開されますことをご期待申し上げます。

結びに、公益社団法人本宮市シルバー人材センターの益々の発展と、会員の皆様方にとりまして、今年一年が健康で希望に満ちた年となるよう心よりご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

さて、市議会では市政や議会活動の状況を市民の皆様に直接会員報告し、ご意見をいただく場として「市民との意見交換会」をとどめ、昨年度より開催しています。議員改選後の本年度も、定住人口増加への取り組みと地域の取り方・活性化をテーマとし、月二十七日の水曜日に市内三会場で開催する予定であります。ぜひご参加いただき、ご意見をお聞かせください。

結びに、今後とも市議会に対する皆様のご理解とご協力を願い申し上げますとともに、貴センターの益々のご発展と会員皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、新年のごあいさつといったします。

『一人一仕事開拓、一人一会員入会』

就業開拓・会員増強推進事業の具体的な取組み

《親切・丁寧・誠実な就業による地域から
信頼されるシルバー人材センターを目指して》

(1) 仕事開拓

- ① 一人の会員が2千円の就業を2件開拓すると、契約高は、132万円の伸びになります。
この、効果は、会員が「会を運営する一人であり、ひとりの力を集結してセンターの運営危機を乗り越えよう」とする思いが育まれます。
- ② 会員がセンターの普及啓発パンフレットを知人や近所に配布し、受注につなげるよう実施する。

(2) 会員入会

- ① 会員の口コミの重点的に会員の拡大を図ってゆく。
会員入会経路は、会員の紹介と広報等による入会が大半を占めている。
入会のメリットは、人間形成が育まれる、健康の維持ができる、就業による仲間づくりが出来る等のアピールをもっと進めていきたい。
- ② 入会すると楽しい
サークル活動、地域班活動、ボランティア活動、宿泊旅行
楽しみを見つけることへの活動推進



就業開拓・会員増強運動促進委員会を設置いたしました

就業開拓・会員増強運動促進委員会名簿

No.	役職	会員番号	氏名	所属
1	委員	264	齋藤陽彦	本宮1班
2	委員	333	国分実	本宮1班
3	委員	179	高橋正晴	本宮1班
4	委員	395	川名健公	本宮2班
5	委員	358	浦井文男	本宮2班
6	委員	270	佐藤道義	本宮3班
7	委員	293	根岸康夫	本宮3班
8	委員	301	武藤武	本宮5班
9	委員	376	遠藤洋人	本宮5班
10	委員	380	伊藤豊子	本宮5班
11	委員	273	渡辺和彦	白沢1班
12	委員	186	渡辺由訓	白沢3班
13	委員	192	三瓶ミヨ子	白沢4班

会員を増すことは、お客様をお待たせしないで、仕事をしてゆくことで、就業の迅速化が図られるのは契約高が上がることに匹敵します。

人的に余力が生じれば、就業の開拓はより積極的に行なうことが出来、これが配分金の増額に結びつきます。

会員の一人ひとりの意識改革により、「一人一仕事開拓・一会員入会」を合言葉に運動展開するために、委員会を設置いたしました。

委員会は、次の項目を目標に向けて計画して実行して行ないます。

※一人当たりの配分金年額目標：60万円

※会員数目標：200名





健康を守るために【先生の講話から】

◎ 平均寿命上位県から見えてきた事

※長野県は、男性80.88歳・女性87.18歳でダントツ全国一番

では何故、①男女とも野菜の摂取率が全国一位

②高齢者の就業率が全国トップ

(シルバー人材センターの1団体当たり就業実人員では、長野県は、805人・福島県は、239人とかなりの差がある)

③医師・歯科医師・薬剤師・保健師・管理栄養士などの専門職による地域保健医療活動が活発である

◎ 健康寿命をより延ばすにはどうする

① 定期的な運動をする

② 食材を豊富にバランス良い食事摂取する

③ しっかりと休養と睡眠を取る

④ 社会活動やボランティア活動による新たな発見をする。

⑤ 歯の健康、良く噛むことが長寿の秘訣

◎ 個人が取り組む必要がある事 (ぴんぴんこりり PPK)

①禁煙する ②塩分を減らす ③飲酒はほどよく

◎ 認知症にならないために

① 脳を活発に動かす

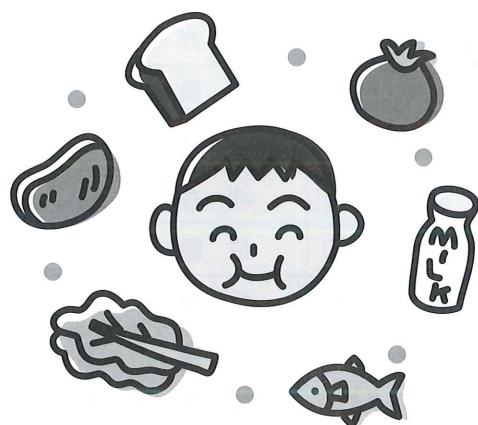
② 生活習慣を見直す

③ 自分の生きがいや楽しみの活動を実践する

④ 外に出て人とふれ会う

《まとめ》

転倒に気をつけて、生活習慣に注意して、すべてに興味と好奇心を持ち、細やかな気配りをして良い付き合いをして、くよくよしないで明るい気分で生活をしましょう。



七月第二回理事会において、「会員の福利厚生等に関する件」が審議され、企画研修委員会に調査・検討が付託されました。センターの機能強化が求められており、就業開拓・会員増強のための委員会を設置して、会員総ぐるみ運動を開催することとしております。

そのためには、会員の健康管理と福利厚生事業の必要性が高まります。

会員の心身ともに健康でお互いに学び交流のために具体的な活動を検討していただくために付託されました。

より良い会の運営のために、皆さんの懇意のないご意見をお願いします。



白河西郷広域シルバー

安全就業委員会

過日、草刈班の就業中に転倒により、腰椎骨折事故が発生いたしました。

3年前から会員の就業の安全を行うため、会員意識充実のために、安全適正就業推進大会を開催してきました。

この、5年特に大きな事故等は、無く運営していました。

今回の事故に対して委員会を開始、事故の発生の原因として、現場状況の未確認が要因となっていたこと作業方法の欠如等が上げられました。

仕事への慣れも一因として見受けられ、会員個々の安全意識をより図ることが大切との意見がだされました。

今後同様の事故が起きないよう対策を、会員全員に周知徹底を図りより一層の安全就業に取り組んで行きます。



適正就業委員会

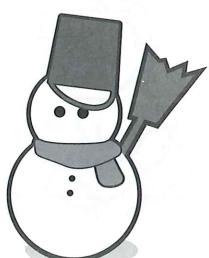
会員の就業上適正を欠く行為に対する措置要綱の制定を検討しています。

要綱の趣旨は、センターの事業推進にあたり、就業の適正化を図るために就業上適正を欠く行為を行なった会員に対する措置を定めるものです。

定款と会員就業規則等に反する行為を行なった会員に対して今まででは、特に罰則の規程はありませんでした。

就業時間、就業上のルールを守らない、無断で就業場所を離れたり、又は就業を休む、就業先での中傷や守秘等の秩序を乱す、配分金の不正・売上金の着服・個人請負の対価着服等の法律、就業規則に抵触する行為等を行った場合の罰則を決めるものです。

委員会で充分な検討を行い理事会に報告いたします。



みんなの広場

女性会員の集い



三瓶菊子



互助会会长
大友敬一郎

就業と融和

昨年から理事を拝命しております。

シルバーの就業は、年々増加をみておりますが、女性の会員が少なく、ローテーション就業に支障がきております。

女性会員の募集と参加を進めるには、現在の会員が仕事では充実している、参加するのが楽しいこと。

これが、新しい会員を募集するには、大切な前提条件になるとおもいます。

過日、白沢地区の女性会員の集いを初めて開催いたしました。

この集いをきっかけに女性の輪を広げて行きたいと存じます。

より良い会づくりのために、女性の皆さん

じで意見をお願いします

年に何回か仲間同士での懇親会を実施し充実した就業をしています。
高年齢になり、ただ単に働くだけでは、味気ないとおもいます。

やはり、働くことが健康を保ち、友との楽しい語らいにより新しい発見があれば又、楽しいことです。

互助会は、会員同士の融和のための会と思っております。

是非、皆さん会活動に積極的に参加してください。

新しい友が見つかりますよ。

「みんなの広場」の原稿募集

この頁は、会員の皆さんによる、日頃思うこと、旅行紀行、俳句、川柳等、自由にお使いください。

会員互助会だより

奉仕活動



十月は、「シルバー人材センター普及啓発促進月間」として全国一斉に、地域参加型のボランティア活動・地域環境の美化活動が展開されることに合わせて実施いたしました。

十月四日、市福祉会館の周辺と白沢老人福祉センターの庭の草刈等の奉仕活動を多くの会員が参 加して行いました。



安全就業 「標語募集」

一 会員募集に協力を――

目的

二十八年の当センターの安全意識の向上と安全就業のため、会員の皆さん「標語の募集」を行います。

二 募集対象者

会員全員

募集標語
自由とします

四 募集期日

二月末日

五 審査委員

理事及び各委員会の代表

六 審査月日

三月中に予定

七 賞基準

最優秀賞 一件

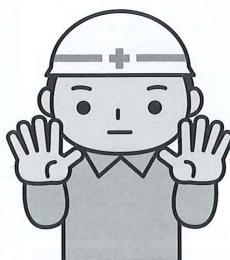
優秀賞 二件

佳作

図書券五千円程度
図書券三千円程度
図書券一千円程度

八 表彰
九 使用
安全・適正就業推進大会の席上
〔安全・適正就業強化月間〕
二十八年七月一日から使用

(例) 現在の標語
「安全は 無理せぬあせりゆ ゆとり持て」



当センターの会員入会率は、一・六%と県平均より四ポイント低い加入率です。

草刈りは、常に人員不足のため依頼された就業が大幅に遅れる大変な状況にあります。

会員の皆さんの知り合いで、経験豊富な就業意欲のある方を紹介してください。

『入会説明会』

三月三日 木曜日 午前十時

市福祉会館

会議室

(センター事務所)

新会員加入者名

二十七年八月から二十七年十一月

古武佐佐橋徐国丸三生武
川田藤藤本山分山浦実田
正芳とよ子コマ子克泰悦
儀正巳誠子ツキ子長夫
本宮第五班本宮第一班本宮第三班
本宮第五班本宮第二班本宮第五班
本宮第四班本宮第三班白沢
本宮第四班本宮第二班本宮第五班
本宮第三班本宮第二班本宮第一班
本宮第四班

役員研修

九月十七日、秋田県横手市SFCに役員研修で伺いました。

多忙な折、佐藤理事長、粕加屋常務理事兼事務局長の懇切丁寧なご指導をいただきました。

会員数一千人、秋田県で一番大きなセンターで地域推進員が研修会、交流会、グラウンドゴルフ大会等を計画して運営している。

いろんな政策が国から発信されているが役員が立ち遅れのないよう舵取りが重要であるとの考えで運営しているとのこと。役員として、会運営での見習うことの多い研修でした。



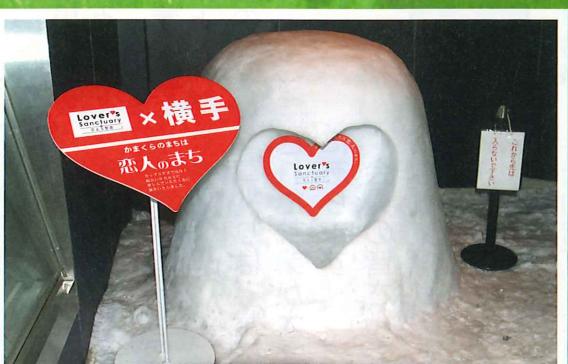
Snapスナップ'Snap



清掃活動



川払機講習会



横手かまくら館



横手市 平安の風わたらる公園



ボランティア活動 白沢地区会員



ボランティア活動 本宮地区会員

* 広報委員会 *

委員長 遠藤 正志
副委員長 根本 恵美
委員 佐藤ヒサイ
員 員 渡邊 和彦
員 員 遠藤 洋人



昨年に増して、本年も良い年になりますよう会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

会員会では、それぞれの提案や意見を取りまとめ、修正・校正を重ね真剣に取り組んだ成果を本号に集約する事ができました。これからも「一人一事、一人一會員入会」のスローガンを実践すべく広報誌としての活動に取り組んで参ります。

月から二回にわたり広報委員会が開催されました。

編集後記